

東京商工リサーチが 厳選する優良企業紹介 経営者に訊く 事業特性と今後の成長戦略

誰が1年前に今の状況を予想していたでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で国際社会・経済は深い傷を負いました。感染者数は世界で増え続け、世界各国がロックダウン（都市封鎖）に踏み切り、感染症の感染防止策が徹底される中で完全に経済活動は遅れを取りました。

感染拡大が遠い国の出来事のように思っていた日本に於いても徐々に新型コロナウイルス感染症が拡がり、4月に緊急事態宣言が発出されました。当たり前のように通勤し、当たり前のように営業活動を行ってきたビジネスマンも、これまでの生活が大きく変化し、外出を自粛しながらの生活を余儀なくされました。実際、2020年4月から6月の実質GDPは年換算で前期比28.1%減と戦後最大の落ち込みを記録し、毎日のように「新型コロナウイルス」関連の経営破たんも発生しました。約2か月に亘る緊急事態宣言が解除され、徐々に日本経済も復活へと歩みを進めていますが、経済活動は常に感染拡大と隣り合わせとなっており、思い切った事業活動に二の足を踏む経営者も少なくありません。足元では「第三波」が襲来して再び感染者数は増加し、重症者数も過去最多人数を更新しており、当面は新型コロナウイルス感染症と付き合いながら経済を回すこととなるでしょう。

しかし、このような未曾有の状況に於いても明るい兆しも見えています。7月から9月の実質GDPは年換算で前期比22.9%増と急回復し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政府・自治体の支援策の効果もあり、足元の倒産件数は減少しています。また、「デジタル化」や「脱炭素」といった潮流から新たなイノベーションや投資需要も生まれており、これまで幾度と経済危機に立ち向かってきた日本の中小企業の力強さを実感せずにはいられません。東京商工リサーチはコロナ禍に於いてもピンチをチャンスに変えて成長を続けている企業、感染収束を見越して投資を継続する企業など、数多くの中小企業取材してきました。今回、その中でも厳選した優良企業の経営者にインタビュー形式で経営理念や企業特性を語って頂きました。熱いメッセージがコロナ禍に苦しむ企業の未来を切り拓くヒントとなり、読者の皆様の2021年の成長に向けた原動力になることを期待しています。

掲載企業

日進レンタカー株式会社

株式会社アースアンドウォーター

医療法人社団 ICVS

株式会社インテレクト

株式会社OSMIC

オンライン株式会社

株式会社外装専科

株式会社グローバルトラストネットワークス

コガソフトウェア株式会社

ダイセーロジスティクス株式会社

武内製薬株式会社

株式会社ダブルイー・ホールディングス

中央建設株式会社

株式会社デジタル・コア

日東商事株式会社

株式会社日本土地建物

株式会社ラティアクリエイツ

株式会社アプリコット

旭興進株式会社

株式会社MIK

株式会社開運

株式会社川島コーポレーション

株式会社KHC